

(素案)

前回調査

第5回

高齢者の生活実態と介護保険サービス等
に関する意識調査

第4回

高齢者の生活実態と介護サービス等に
関する意識調査

令和元年10月

大阪府

平成28年9月

大阪府

【ご自身のことについて】

問1 あなた（お送りした封筒のあて名の方のことをいいます。以下同じ。）の性別と年齢について、次のうち、それぞれ当てはまる項目に1つずつ○をつけてください。

《性別》	1 男性	2 女性	3 その他（ ）
《年齢》	1 65～69歳	2 70～74歳	3 75～79歳
	4 80～84歳	5 85～89歳	6 90歳以上

【問の順番入れ替え】

【選択肢を修正】

問2 この調査票はどなたが記入されますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

1	お送りした封筒のあて名ご本人が記入
2	本人の意思を確認して、ご家族の方などが代わりに記入
3	本人の意思が確認できないので、ご家族の方などが代わりに記入

【問の順番入れ替え】

【選択肢を修正】

とい
問3 あなたの世帯構成についてうかがいます。当てはまる項目1つに○をつけてください。

1	ひとりぐらし	
2	夫婦二人暮らし（配偶者も65歳以上）	
3	夫婦二人暮らし（配偶者は65歳未満）	
4	子どもと同居（世帯全員が65歳以上）	→ 4～7に回答された方は同居人数（あなたを含む）をご記入ください。
5	子どもと同居（4以外）	
6	親族又は友人などと同居（世帯全員が65歳以上）	
7	親族又は友人などと同居（6以外）	
8	施設に入所	<input type="text" value="人"/>

【問の順番入れ替え】

【選択肢を修正】

とい
問4 あなたがお住まいの住宅や施設の種類のつぎのうちどれにあたりますか。当てはまる項目1つに○をつけてください。

（※親族などが所有されているお住まいの場合も、持ち家としてください。）

1	持ち家（一戸建て）
2	持ち家（マンション・長屋建てなどの共同住宅）
3	借家（一戸建て）
4	借家（民営の賃貸マンション、アパートなどの共同住宅）
5	借家（公団・公社・公営の賃貸住宅）
6	有料老人ホーム（介護付、住宅型）、サービス付き高齢者向け住宅
7	養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）
8	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院
9	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
10	その他（具体的に： <input type="text"/> ）

【問の順番入れ替え】

【選択肢を修正】

とい
問5 あなたが^{いま}お住まいの^{じゅうたく}住宅や^{しせつ}施設が^{しよざい}所在する^{しちやうそん}市町村はどちらですか。次のうち、^{つぎ}当て^{あて}はまる^{こうもく}項目1つに○をつけてください。

1 おおさかし 大阪市	2 とよなかし 豊中市	3 いけだし 池田市	4 すいたし 吹田市
5 みのおし 箕面市	6 たかつきし 高槻市	7 いばらきし 茨木市	8 せつつし 摂津市
9 もりぐちし 守口市	10 ひらかたし 枚方市	11 ねやがわし 寝屋川市	12 だいてうし 大東市
13 かどまし 門真市	14 しじょうなわてし 四條畷市	15 かたのし 交野市	16 やおし 八尾市
17 かしわらし 柏原市	18 ひがしおおさかし 東大阪市	19 とんだばやしし 富田林市	20 かわちながのし 河内長野市
21 まつばらし 松原市	22 はびきのし 羽曳野市	23 ふじいでらし 藤井寺市	24 おおさかさやまし 大阪狭山市
25 さかいし 堺市	26 きしわだし 岸和田市	27 いずみおおつし 泉大津市	28 かいづかし 貝塚市
29 いずみさのし 泉佐野市	30 いずみし 和泉市	31 たかいしし 高石市	32 せんなんし 泉南市
33 はんなんし 阪南市	34 とよのちやう 豊能町	35 のせちやう 能勢町	36 しまもとちやう 島本町
37 たいしちやう 太子町	38 かなんちやう 河南町	39 ちはやあかさかむら 千早赤阪村	40 ただおかちやう 忠岡町
41 くまとりちやう 熊取町	42 たじりちやう 田尻町	43 みさきちやう 岬町	

【選択肢を修正】

とい
問6 あなたは^{しやう}障がい者^{しやてちやうとう}手帳等を^{しよじ}所持しておられますか。次のうち、^{つぎ}当て^{あて}はまる^{こうもく}項目すべてに○をつけてください。

1 ^{しんたいしやう}身体障がい者^{しやてちやう}手帳

「1 ^{しんたいしやう}身体障がい者^{しやてちやう}手帳」をお選びの方は、^{えら}種別^{かた}もお選びください。

《^{しゅべつ}種別》 1 ^{しかく}視覚 2 ^{ちやうかく}聴覚・^{へいこうきのう}平行機能 3 ^{したいふじゆう}肢体不自由

4 ^{おんせい}音声・^{げんご}言語・^{きのう}そしゃく機能 5 ^{ないふしやう}内部障がい

2 ^{りやういくてちやう}療育手帳

3 ^{せいしんしやう}精神障がい者^{しやほけんふくしてちやう}保健福祉手帳

4 ^{てちやう}手帳は^{しよじ}所持していない

【選択肢を修正】

問7 介護保険制度の要介護・要支援認定の状況について伺います。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。また、「要介護1～5」の認定を受けている方は、主な介護者について当てはまる項目1つに○をつけてください。

1	要介護・要支援認定を受けていない（非該当の結果を含む）	
2	「要支援1」の認定を受けている	おも かいごしゃ 主な介護者はどなたですか (1) どうきよ はいくうしや 同居の配偶者 (2) どうきよ こ 同居の子 (3) どうきよ こ はいくうしや 同居の子の配偶者 (4) どうきよ ろ ぼ 同居の父母 (5) べつきよ かぞく 別居の家族 (6) かいごじぎょうしや 介護事業者 (7) その他 ()
3	「要支援2」の認定を受けている	
4	「要介護1」の認定を受けている	
5	「要介護2」の認定を受けている	
6	「要介護3」の認定を受けている	
7	「要介護4」の認定を受けている	
8	「要介護5」の認定を受けている	

【選択肢を修正】

かいごほけん
【介護保険サービスの利用^{りよう}について】

とい
問8 かいごほけん サービスを利用する際のあなたのかんが^{かんが}かた^{かた}について、次のうち、もっともあて^あはまる^あ項目^{こうもく} 1つに○をつけてください。

- 1 にんてい^{にんてい}された^ははんい^{はんい}ない^{ない}か^か、できるだけ^{おお}多くの^{かいごほけん}介護保険サービスの^{りよう}利用したい
- 2 にんてい^{にんてい}された^ははんい^{はんい}ない^{ない}で、できるだけ^{おお}多く^{かいごほけん}介護保険サービスの^{りよう}利用したい
- 3 できることは^{じぶん}自分や^{かぞく}家族で^{おこな}行い、^い行き届かない^{とど}部分^{ぶぶん}のみ^{ひつよう}必要な^{かいごほけん}介護保険サービスの^{りよう}利用したい
- 4 できるだけ^{かいごほけん}介護保険サービスは^{りよう}利用したくない
- 5 その他^た（^{くたいてき}具体的に：）

【修正なし】

- ◆ とい^{とい}問9から^{とい}問12までは^{ようかいご}要介護・^{ようしえんにんてい}要支援認定を受けている^う方に対する^{かた}質問^{たい}です。^{しつもん}
- ◆ とい^{とい}問7で「^{にんてい}認定を受けていない」と^う回答された方は^{かいどう}問13に^{かた}お進み^{とい}ください。^{すす}

(要介護・要支援認定を受けている方におたずねします。)

問9 あなたが、要介護・要支援認定を受けられたのはどのような理由からですか。次のう

ち、主に当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 訪問介護など居宅での介護保険サービスを利用するため
- 2 特別養護老人ホームや老健などに入所するため
- 3 福祉用具貸与・購入や住宅改修を利用するため
- 4 将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと思ったため
- 5 知人や医療福祉関係者から申請を勧められたため
- 6 その他（具体的に：)

【選択肢を修正】

(要介護・要支援認定を受けている方におたずねします。)

問10 あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。当てはまる項目1つに○をつけてください。(同封の「【主なサービスのメニュー】参考」に各サービスの詳細を記載しておりますので、ご参考ください)

- 1 利用している → 問11にお答えください
 - 2 利用していない → 問13にお進みください
- ↓
利用していない理由について、当てはまる項目1つに○をつけてください。

【設問を統合】

- (1) 当面は家族などによる介護で十分であるから
- (2) 介護保険サービス事業所の職員（ホームヘルパー等）など、他人を自宅に入れたくないから
- (3) 現在病院に入院中であるから
- (4) 利用料が高すぎるから
- (5) 手続きが複雑で面倒そうだから
- (6) 介護保険サービスの利用方法がわからないから
- (7) どのような介護保険サービスがあるかがわからないから
- (8) 利用したい介護保険サービスがないから
- (9) 現在は介護保険サービス利用の必要がないから
- (10) その他（具体的に：)

【介護保険サービスの利用状況について】

(問10で介護保険サービスを「1 利用している」と回答された方におたずねします。)

問11 あなたが、利用している在宅サービスについて、当てはまる項目すべてに○をつけ、利用頻度も併せてご記入ください。

【新規追加】

(記入例) 2 訪問介護【週 / 月に (1) 回】

- 1 在宅サービスは利用していない
- 2 訪問介護【週 / 月に () 回】
- 3 通所介護 (デイサービス)【週 / 月に () 回】
- 4 訪問看護【週 / 月に () 回】
- 5 通所リハビリテーション (デイケア)【週 / 月に () 回】
- 6 短期入所 (ショートステイ)【週 / 月に () 回】
- 7 認知症対応型通所介護【週 / 月に () 回】
- 8 訪問リハビリテーション【週 / 月に () 回】
- 9 訪問入浴介護【週 / 月に () 回】
- 10 小規模多機能型居宅介護【週 / 月に () 回】
- 11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護【週 / 月に () 回】
- 12 夜間対応型訪問介護【週 / 月に () 回】
- 13 医師や薬剤師などによる療養上の指導【週 / 月に () 回】
- 14 看護小規模多機能型居宅介護【週 / 月に () 回】
- 15 その他生活支援サービス【週 / 月に () 回】
- 16 その他の在宅サービス【週 / 月に () 回】

※ 同封の「【主なサービスのメニュー】参考」に各サービスの詳細を記載しておりますので、ご参考ください。

(問10で介護保険サービスを「1 利用している」と回答された方におたずねします。)

問12 あなたは、現在、利用している介護保険サービスの内容に満足していますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

1 満足	2 どちらかという満足	→ 問16に お進みください。
3 どちらでもない		
4 どちらかという不満	5 不満	

【設問を統合】

【選択肢を修正】

サービスのどの点が不満ですか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

(1) 利用できる回数や日数が少ない
(2) 自己負担額が高い
(3) 予約が一杯で、希望する日時に介護保険サービスを利用できない
(4) 希望する施設に入所したいのに、定員が一杯で入所できない
(5) 職員や担当者の介護技術や知識が足りない
(6) 職員や担当者の接し方が悪い(配慮が足りない)
(7) 事前説明が不十分で予想していた内容と違った
(8) その他(具体的に:)

かいごよぼう けんこう
【介護予防・健康づくりについて】

とい
問13 ようかいごじょうたい かが らせ
要介護状態になることをできる限り防ぐためには、適度な運動や社会参加、栄養バランス
を考えた食事等を心がけることが重要だといわれています。

あなたは、病気の予防や健康づくりのために、こういったことに取り組まれていますか。
つぎ
次のうち、**当てはまる項目すべて**に○をつけてください。また、その**取り組み**はどの年代
から始められましたか、**当てはまるもの**に○をつけてください。

- 1 ていきてき ある うんどう あしこし
定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 2 よ しよくじ
バランスの良い食事をとっている
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 3 ちいき きょうじ かつどう せっきよくてき さんか
地域の行事や活動に積極的に参加している
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 4 しごと
仕事をしている
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 5 はみが こうくう つと
歯磨きなど口腔ケアに努めている
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 6 しゆみ も
趣味を持っている
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 7 定期的に健康診断を受診している
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 8 す
タバコを吸うのをやめた（または、タバコを吸っていない）
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 9 さけ の ちゅうい
お酒の飲みすぎに注意している
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 10 た ぐたいてき
その他（具体的に： ）
とりくみきかん だいいぜん だい だい だいいこう
<取組期間> 40代以前から ・ 50代から ・ 60代から ・ 70代以降から
- 11 とく りゆう
特にない（理由： ）

【設問及び選択肢を一部修正】

ちいきほうかつしえん
【地域包括支援センターについて】

とい
問16 あなたは、「地域包括支援センター」を知っていますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

【選択肢を修正】

- 1 相談したことがある。
- 2 必要になれば今後相談したい
- 3 知っているが、相談したいと思わない
- 4 聞いたことはあるが、何をしているところかは知らない
- 5 まったく知らない

- * 地域包括支援センターの役割について
- * 高齢者の健康・福祉・医療に関する様々な相談の受付、関係機関への引継ぎ
 - * 高齢者虐待への対応などの高齢者の権利を守る取組み
 - * 介護予防ケアプランの作成（介護予防ケアマネジメント）
 - * 地域のネットワークづくり
 - * 地域のケアマネジャーの支援 など

こうれいしゃぎやくたい ぼうし
【高齢者虐待の防止について】

とい
問17 つぎ 次のうち、あなたが高齢者虐待に当てはまると思う項目すべてに○をつけてください。

- 1 こうれいしゃ はな が話しかけてくるのを家族が無視する
- 2 こうれいしゃ ねんきん よきん ほんにん いし はん がそく つか 高齢者の年金や預金を本人の意思に反して家族が使う
- 3 ひつよう しょくじ はい 必要な食事、排せつなどの世話・介護をしない
- 4 はい 排せつの失敗をした時、家族が罰として裸にして放置する
- 5 にちじょうせいかつ ひつよう きんせん がそく こうれいしゃ わた 日常生活に必要な金銭を家族が高齢者に渡さない
- 6 その他（具体的に：）
- 7 わからない

【選択肢を修正】

にんちしょう
【認知症について】

とい
問18 げんざい こうれいしゃ やく にん り にんちしょう すいけい にんちしょう
現在、高齢者の約7人に1人が認知症と推計されています。このように、認知症はだ
れもがなりうるものであり、かぞく みちか ひと にんちしょう
家族や身近な人が認知症になることなどをふく おお ひと
含め、多くの人に
とってにんちしょう みちか
認知症は身近なものになっています。

あなたは、にんちしょう、あるいはにんちしょう ひと たい
認知症、あるいは認知症の人に対してどのようなお かんが
考えをおもちですか。

つぎ
次のうち、あてはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 にんちしょう
認知症になっても、その人のい し かんが
意思はできる限り尊重されるべきだ
- 2 じぶん にんちしょう きょたくかいご う したく せいかつ
自分が認知症になったら、居宅介護サービスを受けながら、自宅での生活を
つづ
続けたい
- 3 じぶん にんちしょう きんじょ ひと し
自分が認知症になったら、近所の人にはあまり知られたくない
- 4 じぶん にんちしょう びょういん しせつ にゅうしょ
自分が認知症になったら、病院や施設に入所させてほしい
- 5 みちか にんちしょう ひと せ わ
身近に認知症の人がいたら、お世話をしあげたい
- 6 にんちしょう ひと せつ
認知症の人に、どのように接したらよいかわからない
- 7 にんちしょう ひと いまかか
認知症の人とは、今関わりがない
- 8 その他（具体的に：
)

【設問を修正】

問19 認知症のことを正しく理解し、認知症の人やその家族の応援者となる「認知症サポーター」が全国で多数養成され、例えば見守りや手助けなどの活動を行っています。
 「認知症サポーター」は、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、認知症の人やその家族の方の手助けをする活動を行っています。
 あなたは、「認知症サポーター」の活動に興味はありますか。次のうち、当てはまる項目一つに○をつけてください。

【設問及び選択肢を修正】

- 1 既に「認知症サポーター」として活動している
- 2 「認知症サポーター」養成講座は受講したが、活動はしていない
- 3 「認知症サポーター」になってみたい
- 4 「認知症サポーター」に関心はない
- 5 その他（具体的に： ）

問20 成年後見制度は、認知症高齢者など判断能力が十分でない人々が、日常生活において不利益を受けることのないよう、本人の権利を守り援助する制度です。
 あなたは、成年後見制度について知っていますか。次のうち、当てはまる項目一つに○をつけてください。また3を選択された方は、利用していない理由について当てはまる項目一つに○をつけてください。

【設問及び選択肢を修正】

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 既に利用している 2 必要になれば今後利用したい 3 知っているが、利用したいと思わない 4 聞いたことはあるが、内容までは知らない 5 まったく知らない | <p>利用していない理由</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 制度がわからないから (2) 費用負担があるから (3) 誰が後見人になるか不安だから（他人に財産状況・生活状況を知られたくないから） (4) 制度自体に反対 (5) その他（ ） |
|---|---|

にちじょうせいかつ じょうきょう
【日常生活の状況について】

とい
問21 あなたは、日々充実感をもって生活をおくっていますか。次のうち、当てはまる項目

1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 たいへん充実感がある | 2 どちらかという充実感がある |
| 3 どちらかという充実感がない | 4 まったく充実感がない |

【修正なし】

とい
問22 あなたが、現在、生きがいを感じていることはどのようなことですか。次のうち、当て

はまる項目すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1 仕事 |
| 2 趣味の活動 |
| 3 学習や教養を高めるための活動 |
| 4 社会奉仕・ボランティア活動 |
| 5 スポーツ活動、健康づくり |
| 6 友人・知人との交流 |
| 7 孫や子ども、若者などとの交流 |
| 8 その他（具体的に： <input type="text"/> ） |
| 9 特になし |

【修正なし】

とい
問23 あなたは、日々の暮らし向きについてどのように感じていますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 たいへんゆとりがある | 2 ややゆとりがある |
| 3 普通である | 4 やや苦しい |
| 5 たいへん苦しい | |

【修正なし】

とい
問24 あなたは、現在、日常生活でどのような不安や悩みを抱えていますか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1 人間関係（家族、隣近所、友人など）のこと |
| 2 話し相手がないこと |
| 3 自分の健康状態や病気のこと |
| 4 自分の介護のこと |
| 5 身近な家族の健康状態や病気のこと |
| 6 身近な家族の介護のこと |
| 7 通知やお知らせ、情報がわからないこと |
| 8 生活費や財産のこと |
| 9 家事のこと |
| 10 その他（具体的に： <input type="text"/> ） |
| 11 特になし |

【修正なし】

とい
問26 あなたは、病院や診療所などの医療機関にどの程度かかっていますか。

つき
次のうち、当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

- 1 ほぼ毎日、どこかに通院している
- 2 3日に1回ぐらいは通院している
- 3 週に1回ぐらいは通院している
- 4 月に1～3回ぐらいは通院している
- 5 半年に1回ぐらいは通院している
- 6 ほとんど、通院していない
- 7 訪問診療を受けている

【修正なし】

ほうもんしんりょう
*訪問診療について

けいぞく いりょう ひつよう しつぺい しょうびょうどう つういん で き ひと たい
継続して医療にかかる必要があるが、疾病、傷病等のため通院が出来ない人に対し、
い し けいかくてき ほうもん ていきょう いりょうこうい い きゅうへん じとう かんじゅ ようせい
医師が計画的に訪問して提供する医療行為を言います。急変時等に患者の要請により
しんりょう き おうしん あ ざいたくいりょう い
診療に来てもらう「往診」と合わせて、「在宅医療」と言います。

とい
問27 あなたは、今後、自分で身の回りのことができなくなった場合、人生の最期まで、どのような暮らしをおくりたいですか。（現在、できない方も）次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 自宅に住み続けながら、介護保険サービスを受けずに、家族などの介護を受けて暮らしたい
- 2 自宅に住み続けながら、介護保険サービスを受けて暮らしたい
- 3 地域に住み続けながら、「認知症高齢者グループホーム」などの地域に密着したサービスを受けて暮らしたい
- 4 「有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者向け住宅」など的高齢者向け住宅に入居して暮らしたい
- 5 「特別養護老人ホーム」などの介護保険施設に入所して暮らしたい
- 6 医療機関に入院して暮らしたい
- 7 わからない

【設問を統合】

問29 現在、ボランティア活動は、災害時の支援や支援が必要な方へのサポートだけではなく、「地域での見守り」「居場所づくり」など、内容や担い手の裾野は広がっています。あなたは、ボランティア活動に参加したいと思いますか。当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 既に活動している
- 2 今後、活動してみたい
- 3 ボランティア活動に関心がない
- 4 その他（具体的に： ）

【設問及び選択肢を修正】

「1 既に活動している」と答えた方は、次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- <ボランティア活動を始めたきっかけ>したきっかけ
- (1) 知人・友人からのすすめ
 - (2) ボランティア団体の広報物（チラシなど）を見て
 - (3) ボランティアに参加したいと思い、自らボランティア団体等を探した
 - (4) 個人でやっている
 - (5) 元々は参加者（利用者）だったが、途中で運営に携わるようになった
 - (6) 行政等が主催する養成講座等に参加後、ボランティア団体を紹介された
 - (7) その他（具体的に： ）

問30 あなたが自分で外出する頻度をお答えください。次の1から7について、それぞれ当てはまる項目に○をつけてください。

外出目的	週に 4回以上	週に 2～3回	週に 1回	月に 1～2回	ほとんど ない
1 仕事					
2 買い物					
3 外食					
4 孫の世話や、 子供、親せき、友人を 訪問する用事					
5 文科系の趣味・ 娯楽					
6 スポーツ系の 趣味・娯楽					
7 ボランティア					

【新規追加】

「2 買い物」と答えた方は、次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 徒歩
- 2 車いす（電動車いす）
- 3 自転車
- 4 自分で自動車やバイクを運転
- 5 公共交通機関
- 6 家族が運転する自動車やタクシー
- 7 自分では移動手段を持たない
- 8 住民主体の移動サービス
- 9 その他（具体的に： ）

ちいき あんぜん あんしん
【地域における安全・安心について】

問31 あなたがお住まいの地域で、安心して暮らすことができると感じますか。次のうち、当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

- 1 安心して暮らすことができる
- 2 どちらかというと安心して暮らすことができる
- 3 どちらかというと安心して暮らすことができない
- 4 まったく安心して暮らすことができない

【問の順番入れ替え】

とい問32 困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような人ですか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1 家族・親類 | 2 隣近所の人 |
| 3 知人・友人 | 4 かかりつけの医師（歯科を含む） |
| 5 かかりつけの薬局 | 6 民生委員 |
| 7 ケアマネジャー | 8 市町村の職員 |
| 9 地域包括支援センターの職員 | 10 市町村社会福祉協議会の職員 |
| 11 隣保館や老人福祉センターなどの相談員 | |
| 12 コミュニティソーシャルワーカー（CSW） | |
| 13 サービス事業所の職員（ヘルパー等） | |
| 14 介護相談員 | |
| 15 その他（具体的に： <input type="text"/> ） | |
| 16 特にいない | |

【問の順番入れ替え】

*コミュニティソーシャルワーカー（CSW）について
 ひとり暮らし高齢者、障がい者など福祉的な支援を要する方々からの相談に感じ、必要なサービスや機関へつなぎ、解決を図る取組みを行う福祉の専門職の事です。

*介護相談員について
 介護サービスの提供の場を訪ね、サービス利用者の話を伺い、相談に感じる等の活動を行う人。利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、介護サービスの質的な向上を図る。

とい
問33

ちいき こうれいしゃ たが ささ あ めざ なに
地域で高齢者が互いに支え合うことを目指すとすれば、あなたは、何ができますか。

つき
次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 ほか こうれいしゃ はな あいて
他の高齢者の話し相手
- 2 ほか こうれいしゃ にちようひん か もの だ てつだ
他の高齢者の日用品の買い物やゴミ出しの手伝い
- 3 ほか こうれいしゃ がいしゅつじ つ そ
他の高齢者の外出時の付き添い
- 4 ひとりぐ こうれいしゃ などへ こえ あんびかくにん
一人暮らしの高齢者などへの声かけ（安否確認）
- 5 きんじょ こま こうれいしゃ ぐたいてき かだい そうだんきかん し
近所で困っている高齢者の具体的な課題を相談機関に知らせる
- 6 ろうじん ちいき つど ちいきかつどう せっきよくてき さんか
老人クラブや地域の集いなどの地域活動に積極的に参加する
- 7 くるま そうげい こうれいしゃ いどうしえん
車で送迎など高齢者の移動支援
- 8 その他（具体的に： _____）
- 9 とく
特にない

【問の順番入れ替え】

じょうほうしゅうしゅう
【情報収集について】

とい
問35 あなたが趣味やサークル活動、介護や生活支援などの行政サービスの情報収集手段として利用するものは何ですか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

＜趣味やサークル活動について＞

- 1 家族・知人・友人との会話
- 2 大阪府や市町村のホームページ
- 3 府政だよりや市町村の広報誌
- 4 役場や図書館などの公共施設に配架されているチラシや冊子
- 5 役場や公共施設の窓口担当者
- 6 地域包括支援センターの担当者
- 7 食品スーパーや商業施設などに配架されたチラシやフリーペーパー
- 8 駅などの交通機関に配架されているチラシやフリーペーパー
- 9 行政機関のメールマガジン
- 10 インターネット検索（パソコン、スマートフォンなど）
- 11 その他（具体的に： ）
- 12 情報収集は行っていない

【新規追加】

＜介護や生活支援などの行政サービスについて＞

- 1 家族・知人・友人との会話
- 2 大阪府や市町村のホームページ
- 3 府政だよりや市町村の広報誌
- 4 役場や図書館などの公共施設に配架されているチラシや冊子
- 5 役場や公共施設の窓口担当者
- 6 地域包括支援センターの担当者
- 7 食品スーパーや商業施設などに配架されたチラシやフリーペーパー
- 8 駅などの交通機関に配架されているチラシやフリーペーパー
- 9 行政機関のメールマガジン
- 10 インターネット検索（パソコン、スマートフォンなど）
- 11 その他（具体的に： ）
- 12 情報収集は行っていない

【今後、重要になると思われる施策について】

問36 あなたは、高齢者が個性と主体性を発揮し、生き生きと暮らし続けることのできる社会を築いていくためには、どのような施策が重要とご思いますか。次のうち、より大切だと思う項目3つに○をつけてください。

【選択肢を修正】

- 1 居宅介護サービスの充実
- 2 特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実
- 3 病院や診療所の充実
- 4 生活支援サービスの充実（配食、見守りなど）
- 5 身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり
- 6 健康づくり、介護予防事業の充実
- 7 **ひとり歩きで道に迷った際の対応など認知症対策の充実**
- 8 日常的に利用できる相談窓口の充実
- 9 学習・文化・スポーツ活動への支援
- 10 見守り付きの高齢者住宅の住み替え支援などの充実
- 12 高齢者の生きがい、居場所づくりの支援
- 13 その他（具体的に：）

ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないか、もう一度お確かめのうえ、返信用封筒に入れて、

10月0日（○）までにご返送ください。

おも 【主なサービスのメニュー】 さんこう 参考

※介護保険サービスの利用には要介護（要支援）認定が必要です。

※いずれのサービスもケアマネジャーや市町村に問い合わせください。

○ 居宅でのサービス（主なもの）（介護保険サービス及び地域支援事業）

1	訪問介護 （ホームヘルプ） 訪問型サービス （地域支援事業）	ホームヘルパーなどが自宅を訪問して、食事・入浴・排せつなどの介護や炊事・洗濯・掃除などの援助をします。
2	訪問入浴介護	介護職員や看護師が浴槽を積んだ入浴車等で自宅を訪問して、入浴の介護をします。
3	訪問看護	医師の指示で看護師などが自宅を訪問して、療養状況の確認や、診療に必要な補助を行います。
4	訪問リハビリテーション	医師の指示で理学療法士などが自宅を訪問して、リハビリテーションを行います。
5	居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などが自宅を訪問して、療養上の管理や指導を行います。
6	通所介護 （デイサービス） 通所型サービス （地域支援事業）	デイサービスセンターなどで食事・入浴の提供、機能訓練などを行います。
7	通所リハビリテーション（デイケア）	介護老人保健施設や病院・診療所などでリハビリテーションを行います。
8	福祉用具の貸与 （レンタル）	日常生活の自立を助けるために福祉用具の貸与を受けることができます。 （レンタルの主な品目） 車いす、特殊寝台、手すり、歩行器、歩行補助つえ、体位変換器、認知症老人徘徊感知機器など

【修正なし】

9	福祉用具の販売	福祉用具のうち入浴又は排せつに使用する用具を購入した場合、年間10万円を限度として購入費用を支給します。
10	住宅改修費支給	自立や介護をしやすい住まいにするための小規模な住宅改修に20万円を限度として支給します。 (例：手すりの取付けや段差の解消など)
11	短期入所生活介護・ 短期入所療養介護 (ショートステイ)	特別養護老人ホームや介護老人保健施設などに短期間入所して、介護や機能訓練などのサービスを受けます。 (介護老人保健施設などでは、看護・医学的な管理のもとで、介護、その他必要な医療の提供が行われます。)

【修正なし】

※上記以外に、お住まいの地域によっては配食サービスなど様々な地域支援事業を実施していることがあります。

○高齢者の施設及び住まい（主なもの）

1	介護老人福祉施設 （特別養護老人 ホーム）	常に介護が必要で自宅での生活が困難な方が入所し、日常生活上の世話、機能訓練などのサービスを受けながら生活します。（原則、要介護3以上の方が利用できます。）
2	介護老人保健施設 （老健）	病状が安定しており、リハビリテーションや看護・介護を必要とする方が入所し、在宅復帰をめざします。
3	介護療養型医療 施設（廃止予定）	長期にわたる療養を必要とする方が入所し、介護などの世話及び機能訓練、医療サービスの提供を受けます。
4	介護医療院	日常的な医学管理が必要な重介護者の受け入れや看取り・ターミナル等の機能と、生活施設としての機能を兼ね備えた施設です。
4	認知症対応型 共同生活介護 （グループホーム）	認知症のために介護を必要とする方が、小人数で共同生活を行い、介護や機能訓練などを受けます。
5	養護老人ホーム	65歳以上で環境上の理由、経済的な理由等により自宅での生活が困難な方を市町村の措置により養護する施設です。
6	軽費老人ホーム （ケアハウス）	60歳以上で家庭環境などの理由により自宅での生活が困難な方が入所し、低額で日常生活に必要なサービスの提供を受けます。
7	有料老人ホーム （介護付き、住宅 型）	利用権や賃貸などの形態で入居し、介護が必要な場合、施設が提供する介護サービスを利用するか、若しくは、地域の介護サービスを利用しながら居室での生活を行います。
8	サービス付き 高齢者向け住宅	居室の広さや、バリアフリー等が一定の条件を満たし、安否確認、生活相談などのサービス提供が義務付けられている（登録）住宅です。生活支援サービスは外部の事業者が提供するサービスも利用できます。

【介護医療院を追加】

○ ちいきみっちやくがた おも かいごほけん
 地域密着型サービス（主なもの）（介護保険サービス）

1	ていきじゅんかい すいじたいおうがた 定期巡回・随時対応型 ほうもんかいごかんご 訪問介護看護	じかんあんしん じたく せいかつ 24時間安心して自宅で生活できるように、ホームヘルパーや看護師などが日中・夜間を通じて、一日数回の定期訪問と随時対応を行います。
2	やかんたいおうがた 夜間対応型 ほうもんかいご 訪問介護	やかん ていきてき じゅんかいほうもん また すいじつうほう 夜間に、定期的な巡回訪問により、又は随時通報を受け、自宅で食事・入浴・排せつなどの援助をします。
3	ちいきみっちやくがた 地域密着型 つうしょかいご 通所介護	りようていいん めいい か 利用定員18名以下のデイサービスセンターなどで、食事・入浴の提供、レクリエーションなどの機能訓練を行います。
4	にんちしょうたいおうがた 認知症対応型 つうしょかいご 通所介護	にんちしょう ひと しょくじ 認知症の人に、デイサービスセンターなどで食事・入浴・排せつなどの介護や機能訓練などを行います。
5	しょうきほたきのうがた 小規模多機能型 きょたくかいご 居宅介護	りようしゃ せんたく おう つうしょ ほうもん と 利用者の選択に応じ、通所や訪問、泊まりを組み合わせ、食事・入浴・排せつなどの介護や機能訓練などを行います。
6	にんちしょうたいおうがた 認知症対応型 きょうどうせいかつかいご 共同生活介護 (グループホーム)	にんちしょう かいご ひつよう かた しょうにんずう 認知症のために介護を必要とする方が、小人数で共同生活を行い、介護や機能訓練などを受けます。
7	ちいきみっちやくがた 地域密着型 かいごろうじんふくしせつ 介護老人福祉施設 にゅうしょしゃせいかつかいご 入所者生活介護	にゅうしょていいん めいい か しょうきほ とくべつようごろうじん 入所定員29名以下の小規模な特別養護老人ホームで、常に介護が必要で自宅での生活が困難な方が、日常生活上の世話、機能訓練などのサービスを受けながら生活します。(原則、要介護3以上の方が利用できます。)
8	かんごしょうきほたきのうがた 看護小規模多機能型 きょたくかいご 居宅介護 (複合型サービス)	ほうもんかんご しょうきほたきのうがたきょたくかいご 訪問看護と小規模多機能型居宅介護を組み合わせ提供するサービスです。

【修正なし】

ちいきみっちやくがた
* 地域密着型サービスについて
 こうれいしゃ ようかいご ようしえんじょうたい
 高齢者が要介護・要支援状態となっても、できるだけ住み慣れた地域で生活が続けられるように設けられたサービスです。
 げんそく す しちょうそん りよう
 原則としてお住まいの市町村のサービスのみ利用することができます。